

*Beyond the football Club*  
～次世代へとつなげる～



# 全県ホームタウン

## Beyond the Football Club ~次世代へとつなげる~

2005年7月19日(火)よりホームタウンを「山梨県甲府市、韮崎市を中心とする全市町村」に広域化いたしました。ホームタウンである県内全27市町村の皆様が「地域・山梨のためのクラブ」として自信を持って誇れる存在になれるよう、そして、ホームタウン・スポンサー・ファンサポーターの皆様と共に行う活動を通じて、フットボールクラブを超えた存在になり、次世代へとつなげていくことを目指します。

詳しくはこちらから



紹介ページ

いこいの杜  
緑が丘サッカースクール  
小原サッカースクール  
北杜市  
山梨市  
丹波山村  
小菅村  
甲府市  
大月市  
上野原市  
甲斐市  
甲斐市  
南アルプス市  
昭南町  
海津市  
富士川町  
市川三郷町  
富士河口湖町  
西桂町  
都留市  
道志村  
忍野村  
山中湖村  
早川町  
身延町  
鳴沢村  
富士吉田市  
三ツ峠サッカースクール  
八田サッカースクール  
コーチ派遣  
ヴァンフォーレ est FC  
玉穂サッカースクール  
小瀬サッカースクール  
昭和三原公園グラウンド  
山梨大学医学部グラウンド  
JITリサイクルインク スタジアム  
選手寮  
八田河川敷グラウンド  
アカデミー拠点  
コーチ派遣  
カメラアススポーツクラブ

## 山梨から世界へ

### ヴァンフォーレの未来

アカデミー(育成組織)は各カテゴリーにおいて子どもたちの成長過程に合った指導を行い、山梨から世界で活躍できる選手を輩出できるよう指導に努めています。

登録選手  
トップチーム  
2022

須貝英大選手  
中央市出身



小林岩魚選手  
甲府市出身  
アカデミー出身



山内康大選手  
南アルプス市出身  
アカデミー出身



内藤大和選手  
甲府市出身  
アカデミー出身



Jリーガー  
31名

高校生  
48名

中学生  
68名

小学生  
41名

小学生&園児  
507名

Top

U-18

U-15

U-12

School

[(一社)ヴァンフォーレスポーツクラブ]

## ヴァンフォーレSDGs



クラブの強みである皆様との間で築いてきた絆を基盤に「新たなクラブの可能性」として、SDGsを戦略機軸にした事業の高度化・差別化に積極的に取り組んでいくことを2021年4月30日に宣言しました。スポーツ x SDGsをクラブの組織事業戦略機軸の一つとして、「より高度に差別化した組織体」と野心的に考えています。



## 甲府市とのSDGsの推進に関する連携協定の締結 17



これまでヴァンフォーレ甲府と甲府市が積み上げてきた協力関係を一層強化・発展させるとともに、多様性と包摂性のあるSDGsの理念のもと、それぞれの有する資源を有効かつ適切に活用する中で、更なる連携により統合的で相乗効果ある取り組みを推進し、SDGsを原動力とした地域社会の活性化を目指し、下記連携事項を中心にとともに取り組みを行います。

### 本協定による連携事項

- 1.SDGsの普及啓発及び情報発信に関すること
- 2.SDGsの推進に資する取り組みに関すること
- 3.その他本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

なお、こちらは甲府市と株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブと一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブの3社による協定です。



## 北杜市との包括連携協定の締結 17



農業や観光などの振興を始め、子ども達を中心とした新たな食育の展開により、循環型社会の形成を推進し、一層の地域の活性化及び市民サービスの向上を図ることを目的に協定を締結しました。

### 本協定による連携事項

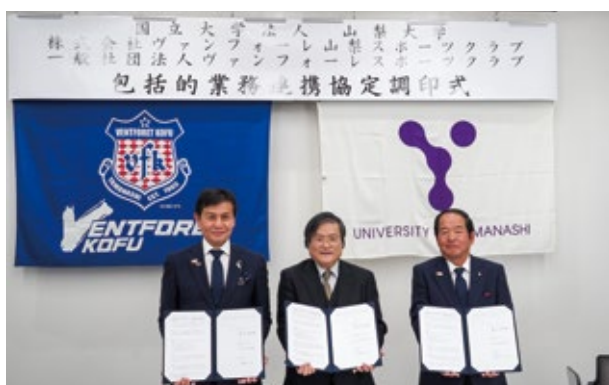
- 1.デジタル技術を活用した地域課題の解決(地域DX)に関すること
- 2.農業を核とした食育プログラムの開発に関すること
- 3.有機農業により生産された米の普及啓発に関すること
- 4.サステナブルツーリズムに関すること
- 5.その他本協定の目的を達成する為に必要なこと

なお、こちらは北杜市と一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ、有機米デザイン株式会社の3社による協定です。

詳しくは  
コチラ



## 国立大学法人山梨大学との包括的業務連携に関する協定の締結 17



教育・環境・健康・国際交流の各分野で協力し、豊かで活力ある地域社会の形成と地域の振興を図り、相互の発展を目指すことを目的として、包括的業務連携に関する協定を締結しました。

### 本協定による連携事項

- 1.教育・環境・健康・国際交流の各分野に関すること
- 2.相互の人材交流に関すること
- 3.両者が保有する技術の相互移転の及び関連産業の活性化に関すること
- 4.教育・研修の機会の共有に関すること
- 5.その他前条の目的を達成する為に必要な事項に関すること

また、クラブスタッフ3名が「山梨大学客員社会連携コーディネータ」の委嘱を受けました。

なお、こちらは国立大学法人山梨大学と株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブと一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブの3社による協定です。

詳しくは  
コチラ



## シャレン！



Jリーグをつかおう！  
**シャレン！**  
Jリーグ社会連携

シャレン！（社会連携活動）とは？

社会課題や共通のテーマ（教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など）に、地域の人・企業や団体（営利・非営利問わず）・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。3者以上の協働者と、共通価値を創る活動を想定しており、これらの社会貢献活動等を通じて、地域社会の持続可能性の確保、関係性の構築と学びの獲得、それぞれのステークホルダーの価値の再発見に繋がるものと考えています。



特産品贈呈セレモニー



市町村長ご挨拶



ビジターサポーターへのプレゼント



選手によるホームタウン紹介動画

詳しくはこちらから  
detail



詳しくはこちらから  
detail



PRブース



エスコートキッズ



## ホームタウンサンクスデー

ホームタウンである街のPRを、試合を活用して行っています。また、ホームタウンの子どもたちの「経験・体験の場」としても活用しています。

この他にもさまざまなイベントを企画！

PR動画のスタジアム放映／ホームタウンマスコット来場／ハーフタイム抽選会／フェアプレーフラッグベアラー／ボールパーソン／リスペクトバナーベアラー／ウォーミングアップ見学／キッズチャレンジマッチ など

# ホームタウン活動は350回!

試合会場では毎試合全市町村旗を掲揚しています。



## ヴァンフォーレインパクトプログラム 4 8 9 11 17



「山梨県の未来を担う産学官各セクターで活動する皆様」「SDGsパートナー企業において次世代を担う社員の皆様」「山梨県および山梨県下市町村の次世代を担う職員の皆様」「山梨県内の学校法人関係者および学生の皆様」を中心に、

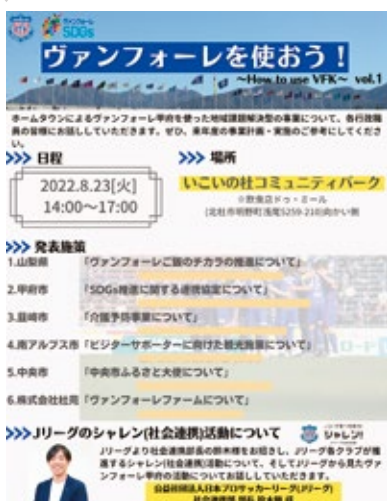
1. マインドリセット (Mind Reset) ~世の中の変化と思考の変化~
2. コネクト (Connect) ~組織を超えたヒトとヒトとのつながり~
3. リスキル (Reskill) ~時代に適合した新たに必要スキルの獲得~

を目的に、参加型のワークショップを開催しました。

こちらは、実践的なコンテンツとして来年以降も継続かつ発展的に開催し、関わるヒトに成長の機会を提供し、地域内の循環型産業モデルの構築と幸福な山梨の実現を目指すプログラムです。



## ヴァンフォーレを使おう! Vol.1 2 3 11 17



山梨県内の各行政が行っている「ヴァンフォーレを使った地域課題解決型の事業」について、他行政の方々への共有を目的に、スポーツ・教育・観光・健康・SDGsなど各課の皆様にお集まりいただき、「ヴァンフォーレを使おう!」を初めて実施しました。

また、当日は「リーグ社会連携部長の鈴木順様に、「シャレン!」についての講演も実施しました。

当日発表施策

山梨県「ヴァンフォーレご飯のチカラの推進について」/ 甲府市「SDGs推進に関する連携協定について」

韮崎市「介護予防事業について」/ 南アルプス市「ビジターサポーターに向けた観光施策について」

中央市「中央市ふるさと大使について」/ 株式会社杜苑(ゲスト)「ヴァンフォーレファームについて」



# 健康

フィットネスダイレクターやアカデミーコーチ、選手が健康増進や体力向上などを目的に、ホームタウンにおける幅広い世代の方々を対象に、目的に応じた様々な取り組みを行っています。

## ■ 韮崎市介護予防事業 3



韮崎市が市内の各エリアで行っている一般介護予防事業に、自主活動サポーターフォロー日を設け、各エリアにフィットネスダイレクターが訪問。日々行っている介護予防事業にプラスアップとなるポイントをアドバイスしています。

## ■ 中央市女性のためのシェイプアップサッカー教室 3



中央市の事業として  
 ・運動を楽しみたい方  
 ・サッカーに興味があるけど、なかなかキックがない方  
 を対象に毎回テーマを設けて、基礎体力向上、基礎技術を中心に橋爪勇樹アンバサダーがトレーニングを行います。また、初回には中央市出身の須貝英大選手もスペシャルゲストとして参加しました。

## ■ 甲府市スポーツ協会 元気アッププログラム 3 11



甲府市・緑が丘スポーツ公園の多彩なスポーツ施設を活用し、甲府市民が気軽にスポーツに親しみ、健康づくり・体づくりを行う機会を提供し、スポーツを日常的に楽しむ市民の裾野の拡大を図り、同時に「健康都市こうふ基本構想」における「人の健康づくり」とマッチングして「スポーツを通じた心と体の健康づくり」を推進することを目的に、甲府市スポーツ協会と共催で緑が丘スポーツ公園施設を活用した「健康・元気アップ！プログラム」を開催しました。  
 甲府市民の方々を対象にヴァンフォーレの人材（コーチ、スポーツクラブインストラクター資格保持者等）を活用したプログラムを実施し、ステップアップ型で運動強度を高めていく健康プログラムです。

## ■ シニアわくわく健康運動教室 3



各会場  
 笛吹市：石和清流公園芝生広場  
 甲斐市：甲斐市玉幡公園(kai・遊・パーク)芝生広場  
 中央市：山梨大学医学部グラウンド  
 甲州市：甲州市塩山体育館

詳しくは  
 コチラ



近年急速に進行する高齢社会に備え、慢性的な運動不足の解消と、フレイル予防、認知症予防の観点から健康維持を図ることによって、地方自治体の財政を圧迫する医療費の圧縮をする一助とすることを目的に、笛吹市・甲斐市・中央市(山梨大学共催)・甲州市で「シニアわくわく健康運動教室」を開催しました。地元各種団体と連携した軽運動、フィジカルコーチやアカデミーコーチによるエクササイズ、ボール運動、脳トレなどを取り入れプログラムを構成し運動効果を可視化するために測定等を行いました。  
 また、本年度から笛吹市、甲州市、甲斐市においては、国民加健康保険入者を対象とした「健康ポイントラリー」と連携し回数を増やし実施しました。

## ■ アジリティ&ラン 3



身体をもっと素早く動かせたい方、自分が持っている力を最大限に発揮したい方を対象に、敏捷性を高めるために身体の使い方を習得して、素早い方向転換ができるように、タニラダーを使ったエクササイズを行ないます。

## ■ ヨガの時間 3



ハードな体幹トレーニングなどのパフォーマンスアップが目的ではなく、自分の身体と向き合いながら、それぞれのテンポで身体を動かすメニュー構成です。時間の有効活用を計りながら身体の柔軟性をアップさせたり、心身のリラクゼーションを目的としています。

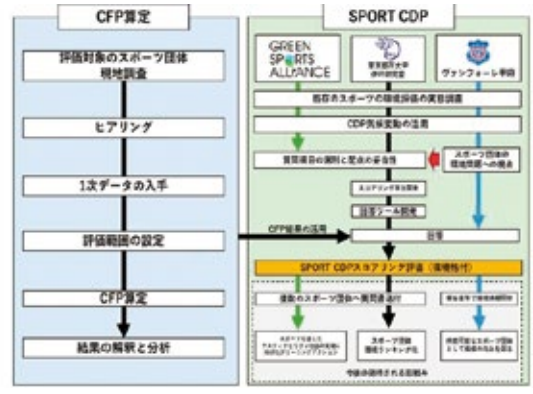
次世代へと続く未来のため、今の私たちに出来ることをクラブ・スタジアムから発信・行動しています。クラブをきっかけに環境に対して関心を持ってもらえるようこれからも継続して活動していきます。

■ 東京都市大学、グリーンスポーツアライアンスとの共同研究

7 11  
12 13  
14 15



直近の算出データは  
コチラ



2019年にSDGs実現に向けた取組の一環として、東京都市大学伊坪徳宏研究室、一般財団法人グリーンスポーツアライアンスと、「スポーツ団体を対象とした環境評価の枠組み構築と活用」の共同研究(2018年2月～2019年1月のデータより算出)を行い、2020年4月に研究結果を発表しました。概算値となりますが、新型コロナウイルス感染症が当クラブのカーボン・フット・プリント(CO2排出量)にどの程度の影響を与えたかを把握するために分析しました。

ヴァンフォーレ甲府同様、年間事業活動から生まれるCO2排出量の見える化に関心のあるスポーツ団体や、CDPなど世界主要企業の行う開示基準に準じることは難しいがCFPの算定は行いたい中小企業の皆様と一緒に、CO2など温室効果ガスの排出量削減への行動を地域一体となって進めるヴァンフォーレ甲府なりの取り組みを行いたいと考えています。年間の事業活動で排出されるCO2排出量が見える化することで、事業で無駄なプレーをしている可能性がある部分が見えたり、生産効率性向上への施策を検討するきっかけとなったり、CO2排出量抑制への新たな企業間連携に繋げたりと、ヴァンフォーレ甲府として新しい事業価値を提供できないかとも考えています。

■ 甲府市プラスチックスマートキャンペーン 6 7 11 12 13



2選手のチャレンジ動画は  
コチラ



SDGs推進に関する連携協定を結んだ甲府市のプラスチックスマートキャンペーンに賛同し、小林岩魚選手(甲府市出身)岡西宏祐選手に普段の生活の中で排出するプラスチックごみの削減にチャレンジしてもらいました。また、甲府市サクスデーとも合わせチャレンジの結果発表を行い、市民・ファン・サポーターに向けて、脱プラスチックの啓発を行いました。

■ LEADS TO OCEAN 海に続くプロジェクト 6 11 12 13 14



スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクトです。2018年より参加したプロジェクトですが、海の無い県ではヴァンフォーレ甲府が初めての参加です。海が汚れることは、森や山が汚れているからであり、海のない山梨県でも海の汚染に関係性があることを、ファン・サポーターの皆さまに改めて認識してもらおう大切な機会になっています。

詳しくは  
コチラ



■ エコスタジアムプロジェクト 6 11 12 13 14



2004年より認定NPO法人スペースふう、県内支援企業・団体の協力を得て紙コップの使用を止め、リユースカップを導入し、ごみの減量化やCO2削減に努めています。2004～2021シーズンまで累計1,004,000個のリユース食器が使用されました。1,004,000個分の使い捨て容器を使用しなかったと仮定すると、77.4トンのCO2量を削減したことになります。77.4トンは、5,522本の杉の木が1年間吸収する量と同じです。

# 教育

子どもたちの夢を育み、健全育成に寄与すること、また社会貢献活動への理解を深めるとともに、地域に根差したクラブづくりを推進し、地域に親しまれ愛されるクラブづくりを目指しています。

## ■ Vent+ 実育山梨



「食育・体育・徳育・知育」を意識した活動プログラムを実施することで現代社会の抱える問題を解決に導くための活動を総称して名付けました。この活動は、各市町村などの行政やスポンサー間で教育的な観点を意識して展開するものであり、地域や家族の絆づくり、また、実りある人を育み「つよく いきる」子どもを育て、「やさしく くらす」ことのできる山梨県の地域活性化に寄与することを目的とするものです。

### ■ 夢のチカラ 4



選手が小学校を訪問し、児童とのふれあい活動を通じて、ホームタウンの子どもたちの夢を育み、健全育成に寄与することを目的とします。選手がこの活動を通じて、社会貢献活動への理解を深めるとともに、地域に根差したクラブづくりを推進し、地域に親しまれ、愛されるクラブづくりを目指すことも目的としています。

### ■ 巡回スポーツ教室 3



選手や指導者ライセンスを保持するヴァンフォーレスポーツクラブの専属コーチが小学校の授業においてゲストティーチャーとして指導することにより、サッカーという競技だけではなく、ボールを使用している様々な運動やスポーツが本来持ち合せている、楽しさや素晴らしさを児童に伝えています。

### ■ ご飯のチカラ 4



生活を取り巻く社会環境が大きく変化し、食生活の多様化が進む中で、朝食をとらないなど子どもの食生活の乱れが指摘されております。

本事業では、プロサッカー選手が幼少期からの食生活を振り返りながら日常的な食生活を紹介することで、食事⇔活動⇔睡眠が密接に関係していることへの理解を促し、「食べること」の大切さを知るキッカケ作りを目的としています。

### ■ 山梨県との連携による食育事業

包括連携協定を結んでいる山梨県が推進する「やまなし食育推進応援団」「やまなし食品ロス削減推進パートナー」に登録されました。今後、クラブが推進しているSDGs活動の一環であるVent+実育山梨の「ご飯のチカラ」の授業内において、「教育」「環境」の視点に加え県の課題をより意識した内容で食育推進に協力し取り組んでいます。



「やまなし食育推進応援団」とは健康に配慮した商品やメニューの提供、食生活の改善や適切な食の選択に役立つ情報提供を行うなどの食育推進に積極的に取り組む事業所や運動に協力する事業所等を「やまなし食育推進応援団」として登録し、ステッカーの交付、ホームページでの紹介等により、県民の日々の生活における食育の実践活動を推進する事業です。

かんしよくま



食品ロスの削減に取り組む協力事業者として登録し、事業者等の取り組みを促進します。さらに取り組みを広く周知することで、県民の意識向上を図ることを目的としています。



ジェンダー・平等・多様性など、誰もが暮らしやすい社会を実現すべく、様々な活動をホームタウンや各種団体と共同で行っています。

## ■ 甲府市就労支援施設とのSDGsタグ製作 1 8 10 12



詳しくは  
コチラ



クラブがSDGsにより強く取り組んでいくことを表現すべく、2021シーズンより夏季限定ユニフォームに「ヴァンフォーレSDGs」ロゴを掲出しています。

2022シーズンにおいても、甲府市自立支援協議会就労支援部会、クラブスポンサー『GLITTER』にご協力をいただき、「ヴァンフォーレSDGs」ロゴのタグを継続して掲出いたします。

今回のタグは、ユニフォームサプライヤー「ミズノ」にご理解頂き、ユニフォーム製造過程に生じる端材など、廃棄処分となる端材生地をアップサイクルさせ、タグを作り出すことで、環境負荷を削減し、循環型社会に貢献することを目指しています。

作業工程の「切る」「縫う」「貼る」という部分を甲府市内の就労支援施設に仕事として依頼させて頂きました。

これは、コロナ禍で多くの就労支援事業所にて製作した商品の販売機会の減少で、商品を販売することが出来ず収入減となることで、障がい者が働く機会が奪われ、自立を阻むことが懸念されているという状況を伺い、依頼させて頂きました。

今回の施策で、自分達が製作をしたタグを選手が着用している姿を見ることで、利用者の皆様に働きがいを改めて感じていただき、スポーツを通じて少しでも活力のある豊かな生活に寄与することを目指しています。

## ■ かえで支援学校訪問 3 10



クラブ存続の危機であった2000年から毎年実施しており、地域密着・貢献を目指しスタートしたクラブのはじまりとなる交流会です。トップチームの全選手、スタッフが参加しており、子どもたちに体を動かすことの楽しさを伝えています。

2020年、2021年には新型コロナウイルスの影響で直接の交流をすることが出来なかったため、高等部を卒業する生徒の皆さんには選手のメッセージ入りシャツ、その他の学年にはオリジナルグッズをプレゼントしました。

今年度から、小学部・中学部・高等部ごとの実施に変更をすることで交流会を再開。ボール遊びや質問タイム、サイン会を行い、3年ぶりに子どもたちの笑顔を直接見ることができました。

また、高等部の皆さんには、ホームゲーム時に販売をしている缶バッジなどの製作にもご協力いただいております。

## ■ ブラインドサッカー 3 10



山梨県のブラインドサッカークラブ「HOGARLIBRE」と協働で、ブラインドサッカー体験イベントや、ブラインドサッカー大会の運営サポート等を行っています。ブラインドサッカーを通じて、障がいの有無に関わらず、皆が仲良く楽しく日々を過ごすための取り組みを行っています。

クラブが持っている発信力や試合会場、選手などを活用し、県内・県外の方々へホームタウンの魅力を発信しています。

## ■中央市ふるさと大使就任 9 11



中央市より、文化、芸術、スポーツ等の分野で活躍している市にゆかりのある人物を通じ、市の魅力を市内外に発信することにより、市のイメージアップ及び地域振興の促進を図るため、中央市出身の須貝英大選手を「中央市ふるさと大使」として任命していただきました。



これにより、中央市ふるさと納税Twitterで行ったキャンペーンに多くの県内外の方々に参加し、フォロワーも1週間で約7,000人近く増加しました。

これからも、中央市と協力して須貝選手が魅力発信に努めていきます。

詳しくは  
コチラ



## ■ビジターサポーター向け観光イベント 9 11



当日の様子は  
コチラ



ホームゲームに来場されるビジターサポーターの方々に、ホームタウンの魅力発信を行っています。

南アルプス市と中央市では、ホームゲームが行われる1~2週間前にビジターチームのホームゲームに、観光PRブースを出店し、事前にビジターチームサポーターに対してPRを行いました。

その結果、ホームゲーム当日にはスタジアムだけでなく、南アルプス市・中央市に足を運ぶビジターチームサポーターの姿が多くみられ、道の駅や直売所等で多くの特産品を購入していただくことに繋がりました。

### 【南アルプス市】

・6月11日 ヴァンフォーレ甲府vsジェフユナイテッド千葉  
→千葉サポーター向けに・・・

6月5日 ジェフユナイテッド千葉vsベガルタ仙台  
に観光PRブースを出店。

### 【中央市】

・9月10日 ヴァンフォーレ甲府vs大宮アルディージャ  
→大宮アルディージャサポーター向けに・・・

8月20日 大宮アルディージャvsFC町田ゼルビア  
に観光PRブースを出店。



## ■山中湖ヴァンタススクールカップ in 山中湖 9 11



サッカーを通じて相手を尊重し、お互いの親睦を深めるとともに他チームと交流をし、サッカーファミリーを増やすことや、普段試合の機会に恵まれない年代の選手に対する試合機会の提供及び、サッカーを通じた人間性の育成を目的として開催。また、ホームタウンの様々な方と協力しその地域が持つ魅力を県内外の子どもたちに発信することで地域活性化の一助となることを目的として、平野旅館民宿組合と共催しています。

当日の様子は  
コチラ





# ホームタウンとの連携事業



詳しくは  
コチラ



選手が新型コロナワクチンのことを専門家に聞いてみた



リニア推進への協力



デジタルデトックス事業への協力



フードドライブへの協力



甲府刑務所とのグッズ製作



こうふ不登校フォーラムへの協力

## ■山梨県民栄誉賞／甲府市長特別賞／韮崎市長特別表彰



天皇杯 JFA 第102回全日本サッカー選手権大会においてクラブ史上初の優勝を達成。  
山梨県より「山梨県民栄誉賞」、甲府市より「甲府市長特別賞」、韮崎市より「韮崎市長特別表彰」を受賞しました。



## 各団体との連携

### ■山梨県スポーツ協会



ホームスタジアムのJIT リサイクルインク スタジアムは、山梨県スポーツ協会のご理解・ご尽力があり、試合で使用させていただいております。また、サッカーを越えた枠組みでのスポーツ・健康活動をともに実施しています。

### ■山梨県サッカー協会／日本サッカー協会



山梨県サッカー協会と日本サッカー協会との共同を図り、県内における新たな育成システムの確立に努めています。保坂不二夫アカデミーアドバイザーが山梨県ユースダイレクター及びJFAインストラクターに就任し、各年代にもコーチを派遣して活動しています。



## ボランティア

試合運営はクラブだけの力では成り立ちません。様々な方の協力があり、1つの試合が運営されています。

### ■サポーターングスタッフ



約80名の方々にホームゲームを支えていただいているサポーターングスタッフとして登録していただいております。その中から1試合に約50名の方々に、来場者入場ゲートの運営や各イベントブースのサポート、試合記録員、会員への発送サポートなど、多岐にわたって、クラブを支えていただいております。

### ■山梨県サッカー協会／ 甲府市役所サッカー部／ 県内2種3種サッカーチーム



試合時のピッチ看板はすべて山梨県サッカー協会、甲府市役所サッカー部、ホームタウンの2～3種のサッカーチームの皆さまに、設営・撤収を行っていただいております。

### ■AED救護ボランティア



試合時各スタンドに、AEDボランティアの皆さまに待機していただいております。2006年には心肺停止の来場者の一命を取り留め、山梨県救急救命士会より表彰されました。  
※現在はコロナ禍を考慮し、地域医療の崩壊を未然に防ぐことを考え、「地域社会の医療現場において、県民の安全を守る医療従事者としての重要な人的資源に対する負担をかけない。」という観点からAEDボランティアの活動を休止しています。



# ヴァンフォーレ甲府について

これまでに行ってきた地道な活動は、山梨で「ヴァンフォーレ甲府」というブランドを確立しました。これは、WEBやSNS上でも大きな影響力を持つことになりました。これからも私たちはさまざまな活動を通して、地元「やまなし」への貢献とともに、全国、世界へ発信できるクラブを目指していきます。



twitter フォロワー数  
@vfk\_official

6.6万人



facebook フォロワー数  
@ventforetkofu

1.6万人



Instagram フォロワー数  
@vfk\_official

2.1万人



YouTubeチャンネル登録者数  
「ヴァンフォーレ甲府公式チャンネル」

1.2万人



※2022年11月現在

ホームタウン活動、SDGsに関する活動の最新情報はTwitter @vf\_sdgs



詳しくはこちらから  
detail



ヴァンフォーレ  
甲府  
ホームページ



ヴァンフォーレ  
スポーツクラブ  
ホームページ



ヴァンフォーレ  
スポーツクラブ  
YouTube



## クラブ概要

法人名	株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
事業内容	①サッカークラブの運営 ②サッカー試合の開催、運営 ③その他クラブ運営に関する一切の業務 ④旅行業代理店
発足	1965年(甲府第一高OBを中心に甲府サッカークラブとして)
設立	1997年2月7日
資本金	3億6,700万円
株主	山日YBSグループ…9,120万円(24.9%) 山梨県…8,000万円(21.8%) 甲府市…4,000万円(10.9%) 韮崎市…2,000万円(5.4%) その他企業・団体…83企業 個人…267人
代表	代表取締役社長 佐久間 悟

法人名	一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ
事業内容	①サッカーの普及・育成を図る活動 ②学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動 ③国際交流活動に関する事業
設立	2016年11月22日
代表	代表理事 海野 一幸

### チーム名の由来

「VENT(風)」「FORET(林)」というフランス語の組み合わせで「風のように疾く、ときには林のように静かに…」で知られる戦国時代の武将、武田信玄の旗印「風林火山」に基づきます。

### エンブレム

チームカラーの青を基調にデザイン。山梨の豊かな自然の象徴として県花「フジザクラ」を上部に配し、ヴァン(風)フォーレ(林)のチーム名の由来である武田信玄の家紋・武田菱と、山梨の特産品であるぶどうをイメージしたワインレッドで表現。中央の「VFK」は、ヴァンフォーレ甲府の略語であるとともに「Vital Fighting Knights(生き生きと戦う気品ある勇士たち)」を意味します。

### ヴァンフォーレ甲府クラブマスコット

#### □ヴァンくん

山梨特有の日本犬で、国の天然記念物でもある「甲斐犬」がモチーフ。みんなから親しみやすく、覚えやすい名前であること、サポーターのみなさんからの応募数が一番多かったこと、そして「ヴァンフォーレ甲府」の頭の部分を取って命名されました。

#### □フォーレちゃん

ヴァンくんと同じ「甲斐犬」をモチーフにしており、ピアノが得意な女の子です。山梨の名物である、ぶどうの葉をイメージした前髪が特徴です。ヴァンくんと一緒にチームを盛り上げます。



## クラブの歴史

1965	甲府第一高OBによる「鶴城クラブ」を母体として日本サッカーリーグ(JSL)を目指す「甲府クラブ」を結成。
1995	チーム名を「ヴァンフォーレ甲府」に改称。
1997	「株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ」を設立。
1999	J2に参戦するも最下位で終了。
2000	19連敗を含む26試合未勝利を記録し、2年連続最下位。12月には存続の危機に直面。
2001	1月主要株主より海野一幸社長(現最高顧問)と奥水順雄常務(現エグゼクティブアドバイザー)らが会社再建に着手。
2005	J1・J2入れ替え戦で柏レイソルに2連勝し悲願のJ1昇格。ホームタウンを甲府市、韮崎市を中心とする全市町村へ変更。
2012	24戦無敗を記録し、J2優勝を飾る。
2017	4月より「一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ」の活動を開始。
2022	天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権大会にて初優勝。クラブ初の主要タイトル獲得。

株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

〒400-8545 山梨県甲府市北口2-6-10

Tel055-254-6867 Fax055-253-1695

https://www.ventforet.jp



# 2022 VENTFORET KOFU OFFICIAL SPONSORS

スポンサーの皆さまのご支援に心から感謝申し上げます

■ ユニホーム・練習着



■ 地域交流ウェア



■ ユニホームサプライヤー



■ ドリンクサプライヤー SUNTORY

■ チケットिंगパートナー



■ ビジョン



■ 選手入場ロード



■ 地域パートナー 明治安田生命 甲府支社

■ 応援定期協賛



■ ピッチ看板


■ベンチ屋根     ■砂場保護シート   

■フェアプレー  ■HPバナー  ■アカデミー  

■バックスタンドバナー

■ピブス



■担架



■フェンス横断幕

■ベンチ

■カート看板

■メインスタンドバナー

■試合球スタンド



■ベンチ前看板

■メインスタンド最前列バナー

■エスコートキッズ



■ベンチパネル

■グルメパートナー

■コンコースバナー

■その他のスポンサー

長田不動産管理 武田食品 日清オイリオ 古屋法律会計事務所 水口慎一・美津 山梨県交通安全協会 山梨県法人会連合会 らーめん食堂 れんげ

■サポートカンパニー

アウゲン田辺眼科 燈屋 石和健康ランド 小川歯科医院 奥湯村温泉 紅椿の湯 クリーニングすわん グルービー 甲州地どり市場 甲府ビルサービス 小松電工 湯澤 シルクふれんどろい 神州一味噌 スパランドホテル内藤 田辺産婦人科 美容室ZELE ブルアース ヘルシースパサンロード ヘルシーレストランパセラ ホテル神の湯温泉 丸十山梨製パン 薬石の湯温泉 ゆ〜ぶるにらさき 湯めみの丘

■SDGsパートナー

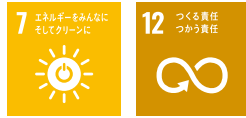
     

葦崎本町運送 山梨貨物自動車 日本生命 甲府支社 マルモ オオキ 甲府文化瓦斯

## キトーグループは事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

キトーは、モノを持ち上げ、運び、固定する作業に不可欠なマテリアルハンドリング機器のリーディングカンパニーです。安全性と耐久性に優れた製品、それを生み出す無駄を排したクリーンな生産・供給プロセス、そしてお客様との相互信頼に根ざしたアフターサービスによって、安全な作業環境の実現のみならず、環境負荷の低減など、幅広く社会に貢献してまいります。

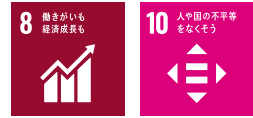
### 地球にやさしい 粉体塗装



山梨本社工場では、溶剤塗装から粉体塗装へ塗装方法を切り替えました。これにより、VOC（揮発性有機化合物）の排出量を2015年度比81%削減。塗装設備の一部は、塗料を回収して再利用も可能です。作業者にしても安心・安全で、ムダもなく、地球にやさしい工程です。



### 誰もが 働きやすい企業



誰もが働きやすい企業を目指し、組織的・継続的に、職場環境の改善に取り組んでいます。とりわけ障がい者雇用の促進は、職場の安全性と生産性の向上、社員の一体感の醸成につながっています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

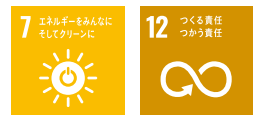
### 社会インフラ整備を 支える製品



道路、鉄道、発電所など社会インフラの整備には、キトー製品が欠かせません。安全性と耐久性に優れた製品とサービスを提供することによって、お客様の安全で効率的な社会活動を支援します。



### 再生エネルギー



キトーと認定販売代理店が共同開発した大型反転機は、電気を使いながら作り出す、省エネルギー化に貢献する製品です。巻き下げ時に発生する回生電力をリチウムイオン電池に高速充電することで、連続運転時間も長くなりました。



# KITO

株式会社キトー 本社工場

〒409-3853

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000

TEL. 055-275-7521

URL. <https://kito.com/jp>



## がんばれ!ヴァンフォーレ甲府

キトーは「地域社会に貢献する」という同じ理念を持つ、ヴァンフォーレ甲府を応援しています。